

平成25年度国債管理政策の概要

国債発行規模

- 平成25年度の国債発行総額は170.5兆円となり、対前年度当初で減少。一方、カレンダーベース市中発行額(入札による市中への発行額)は、24年度補正予算で増発する国債の発行が25年度にずれ込むことなどから増加(5年連続)。

平成25年度の主な施策

○ 年限別のバランスのとれた増発と30年債市場の育成

- 本年4月からの国債市中発行については、市場のニーズ・動向を踏まえ、平成24年度補正予算に伴う2月からの増発と合わせ、バランスのとれた年限構成により増発を行いつつ、平均償還年限を着実に長期化(7年11ヶ月)。
- 30年債については、現在の年間8回発行から、毎月発行に移行し、市場を育成。

○ 物価連動債の発行再開

- 物価連動債については、償還時の元本保証を設けた新たな商品性により発行を再開。具体的な再開時期等については市場関係者を交え検討。

○ 国債整理基金残高の圧縮による借換債の発行抑制

- 従来、国債整理基金残高により備えてきたオペレーショナル・リスク(大規模災害やシステム障害等により借換債発行ができない事態)に対しては、日本銀行からの一時借入による対応が可能となったことから、基金残高を当該一時借入の対象外である国債入札の偶発的な未達に備えた水準まで圧縮することとし、圧縮分を国債償還に充てることにより、借換債の発行を抑制。

(基金残高見込み 平成24年度末10.2兆円→平成25年度末3兆円)

〈発行根拠法別発行額〉

区分	24年度(当初)	24年度(補正後)	25年度(当初)
建設・特例国債	44.2兆円	49.5兆円	42.9兆円
年金特例国債	-	2.6兆円	2.6兆円
一般会計分計	44.2兆円	52.0兆円	45.5兆円
復興債	2.7兆円	2.4兆円	1.9兆円
財投債	15.0兆円	15.0兆円	11.0兆円
借換債	112.3兆円	111.1兆円	112.2兆円
国債発行総額	174.2兆円	180.5兆円	170.5兆円

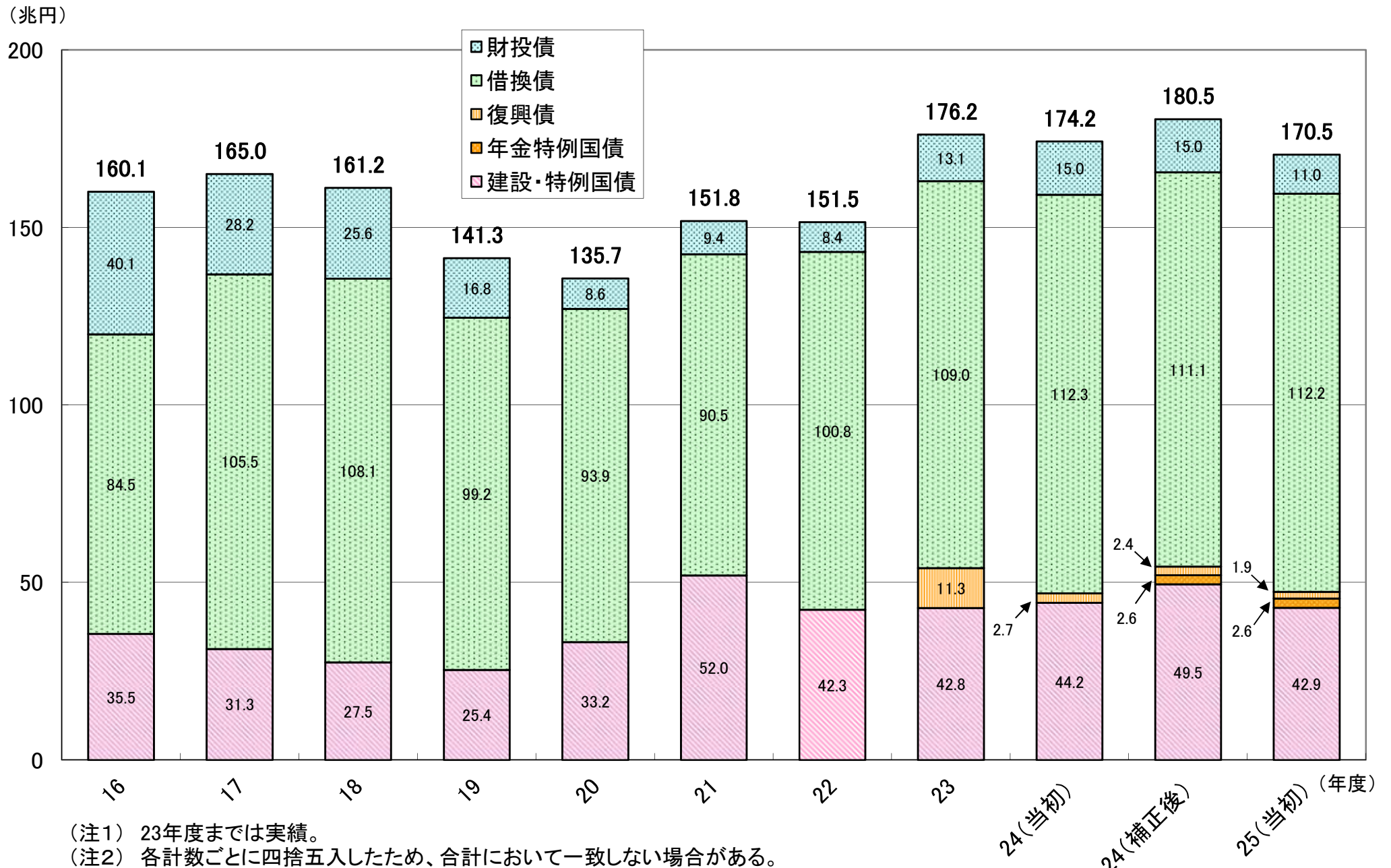
〈消化方式別発行額〉

区分	24年度(当初)	24年度(補正後)	25年度(当初)
市中発行分	154.5兆円	161.4兆円	156.8兆円
カレンダーベース 市中発行額	149.7兆円	149.4兆円	156.6兆円
個人向け販売分	3.0兆円	2.4兆円	2.0兆円
日銀乗換	16.7兆円	16.7兆円	11.7兆円
合計	174.2兆円	180.5兆円	170.5兆円

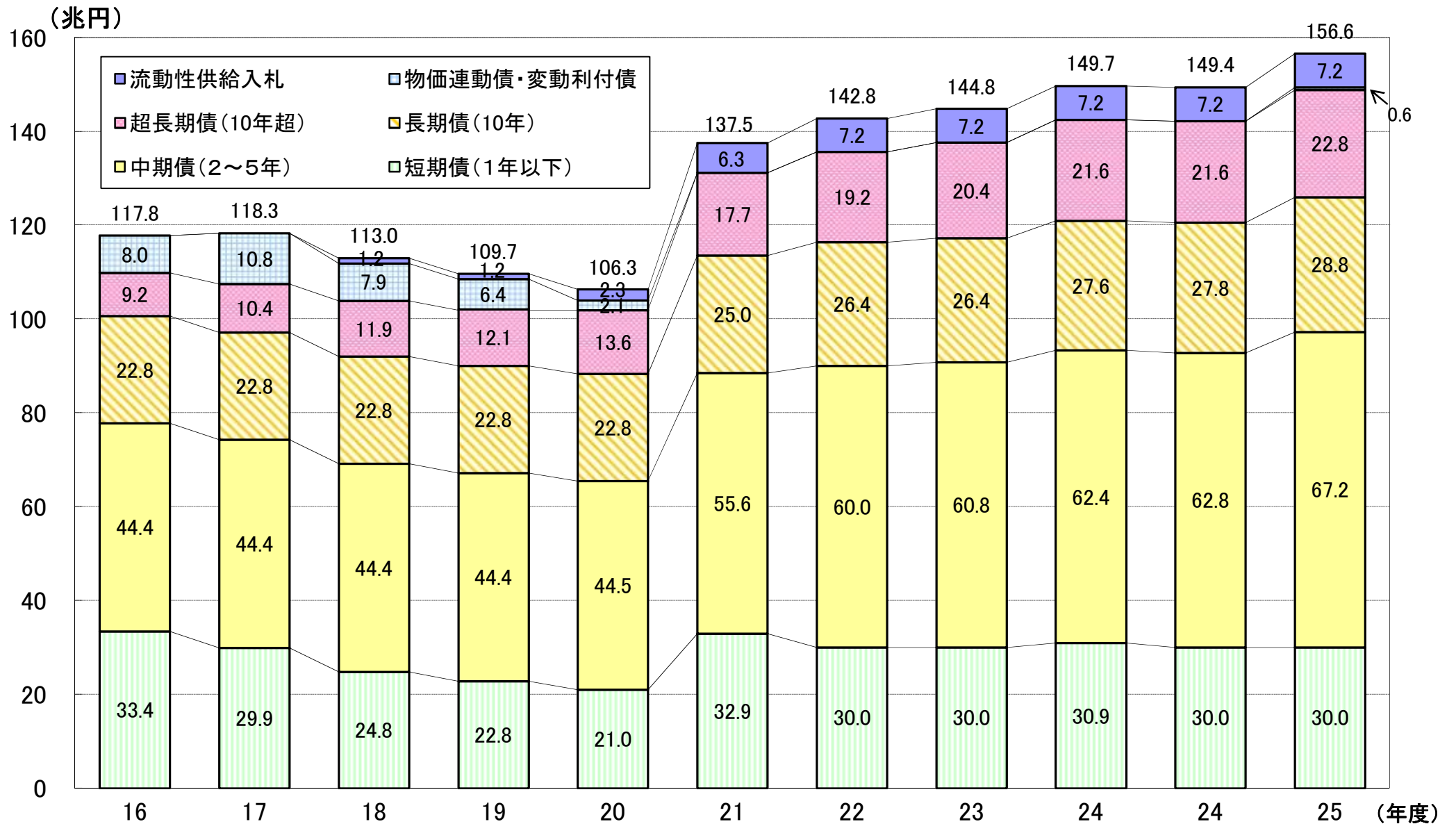
(参考)買入消却について

○市中からの買入消却について、総額2.7兆円程度を上限に実施

国債発行総額の推移



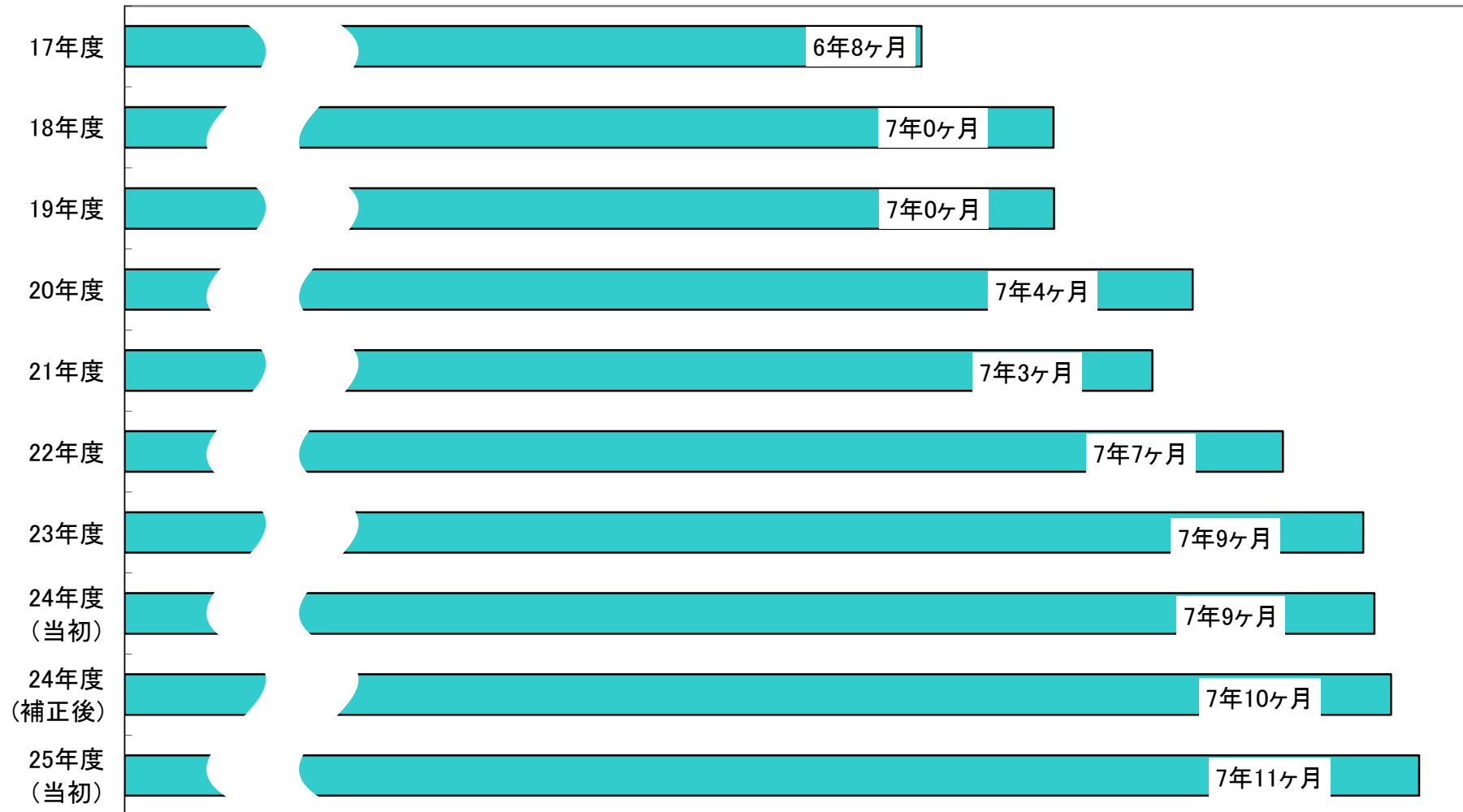
カレンダーベース市中発行額の推移



(注1) 23年度までは実績。

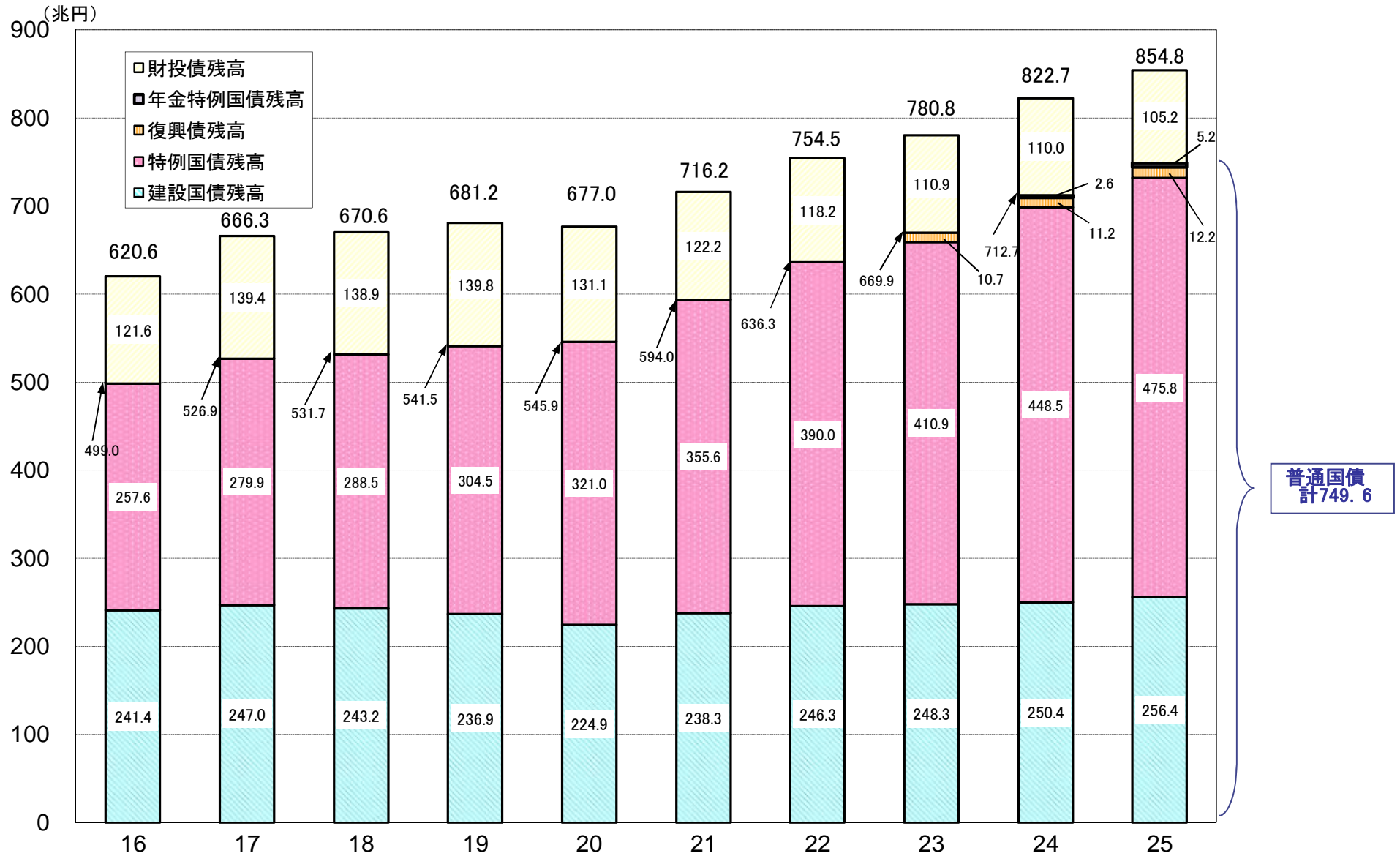
(注2) 短期債については割引債であり、中期債、長期債及び超長期債については固定利付債である。

カレンダーベース市中発行額の平均償還年限



(注)23年度までは実績。

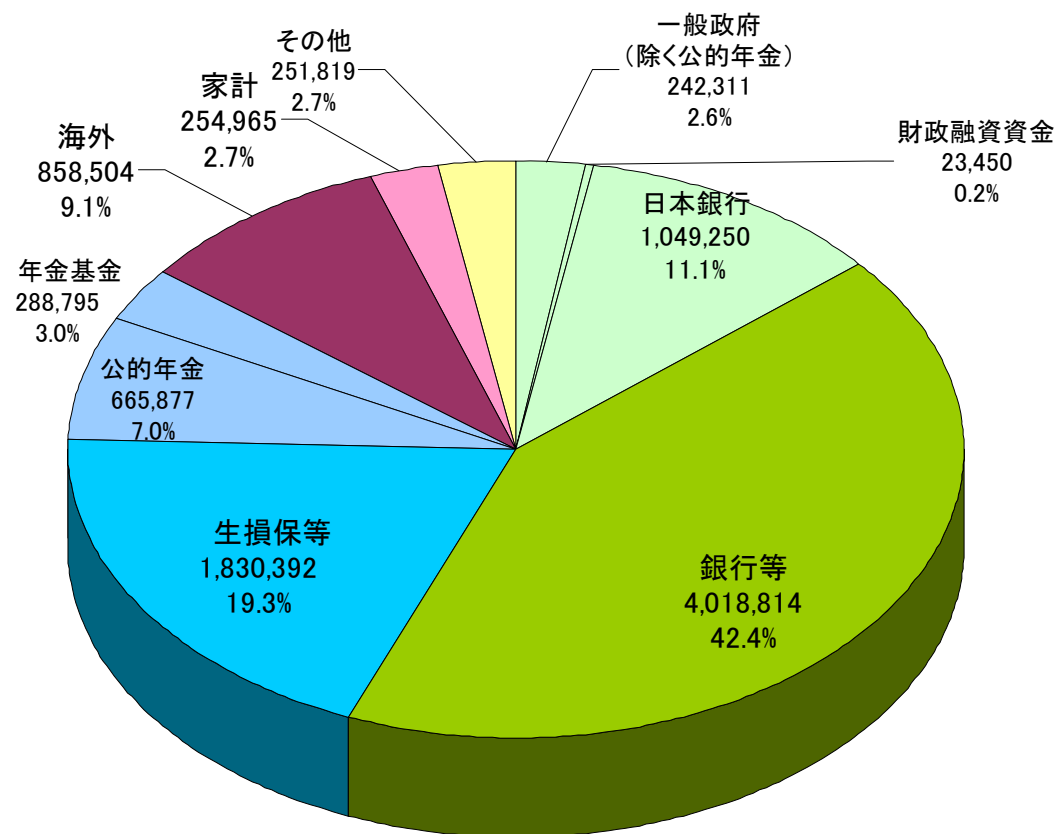
国債発行残高の推移



(注1) 計数ごとに四捨五入したため、合計等において一致しない場合がある。
 (注2) 計数は額面ベース。23年度までは実績、24年度は実績見込み、25年度は当初見込み。
 (注3) ここでの特例国債残高には、承継債務借換国債等を含む。

(年度)

国債及び国庫短期証券(T-Bill)の所有者別内訳 (平成24年9月末(速報))



合計 948兆4,177億円

出典:日本銀行 資金循環統計

(注1)「国債」は財投債を含む。

(注2)「銀行等」にはゆうちょ銀行、「証券投資信託」及び「証券会社」を含む。

(注3)「生損保等」はかんぽ生命を含む。